

インターバンクの声（2016 年 4 月 27 日）

足許は米連邦公開市場委員会 (FOMC) と日銀金融政策決定会合が控えており比較的おとなしい為替相場が続いている。それでも昨日の東京の夕方、円が110円60銭台まで買い戻され、やはりドル安の相場感が強いと思っていたが、ニューヨークの終盤に111円台の中盤近くまで戻してきたのは少し意外だった。普段は某テレビ局の経済情報番組が終わる頃に床に就くが、昨夜は疲れてどうにもならず米耐久財受注のさえない結果を確認してから直ぐに眠ってしまった。110円台前半あたりのニューヨーク終値を想定していたが、外国勢の日銀による追加金融緩和への思惑や原油価格の上昇などがドルの下値を抑えたようだ。ただ、昨夜は耐久財受注の後のコンファレンスボード消費者信頼感指数も市場予想を下回っており、FOMCのメンバーの4月のもとより6月の利上げに対する考え方にも影響を与えそうな気もする。明日昼過ぎの日銀の決定を待たずに、未明のFOMCの結果によっては一混乱あるかも知れない。

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。